停留所の名称変更 新設のお知らせ

今回のダイヤ改正に合わせ、左記のとおり停留所名を変更いたします。
また、「鴻池東」停留所を新設いたしますとともに、鴻池回転場所の設置に伴い、鴻池東停留所を新設いたしますので、お間違いのないようご注意ください。

（変更前）	（変更後）
朝日金属前	住電朝日精工前（スミデン アサヒ セイコウ マエ）
三井グランド前	車塚（クルマ ヅカ）
ミノルタ前	コニカミノルタ前
ＪＲ伊丹駅前	ＪＲ伊丹（ジェイアール イタミ）
生涯学習センター前	ラスタホール前
ＪＲ猪名寺駅前	ＪＲ猪名寺（ジェイアール イナデラ）
新設停留所	鴻池東（コウノイケ ヒガシ）

美化推進に取り組んでいます！

交通局では、今年度よりバス停留所施設の更新・修繕等、美化作業の強化に取り組んでいます。

現在、市内には３３６か所のバス停留所施設があり、多くが設置後長期間経過し、観光化してきたことにより、市の中心部、新市街地や公共施設等の多くの地域から中心市街地や公共施設等へのアクセス、高齢化社会における交通手段の確保といった観点から、黒字路線の一般会計からの補助金、すなわち皆さまの税金によって赤字を補てんしながら運行が維持されています。

← 新しい上屋が設置された裁判所前停留所

老朽化した施設については、順次更新の予定です。

伊丹市交通事業経営健全化委員会による報告書がまとまりました!!

交通局では、昨年８月に伊丹市交通事業経営健全化委員会を設置し、交通事業の財政健全化に向けた方策や事業運営の方向性について審議を重ね、本年１月に同委員会による報告書としてまとめました。

以下にその概要をお知らせします。

１．今後の健全化策等について

○乗客サービスの向上
- 利用者のニーズを的確に把握し、苦情・要望等に敏速に対応できる体制づくり
- 職員の接遇研修をはじめとする業務改善に向けた運動の推進
- 引き続きノンステップバスの導入を推進
- ＩＣカードシステムなど先駆的施設・機器整備の検討

○市バスの積極的ＰＲ
- 広報いたみ、ホームページ等を活用した市バス情報の発信
- 市バス独自の広報誌の発行

○人件費の抑制
- 労働集約型産業である交通事業において、人件費の抑制は大命題であり、その具体策について検討する必要がある。

○整備業務体制の見直し
- 将来的な整備業務の完全委託を視野に入れ、人材派遣などを活用する。

○観光貸切事業の廃止
- 平成元年の「伊丹市交通事業懇話会」による貸切事業の廃止答申に基づき、恒常的に赤字を生じている観光貸切事業については経営健全化の面からＨ１７年度末の観光用車両の更新時期に合わせ廃止をするのが妥当である。（学校園の送迎・路線バス仕様車での市内送迎業務など除く。）

○一般会計補助制度の継続
- 伊丹市第４次総合計画において、魅力ある市バス事業の展開が明確に位置付けられていることなどから、少なくとも累積欠損金の解消が図られるまでの間については現行補助制度を原則として継続する。

○交通局庁舎の建替えについて
- 昭和４２年に建設された現庁舎は、老朽化により修繕等に毎年多額の経費を要しており、建替えが必要な時期である。しかし、建替えの是非・時期等については今後の収支状況などを見極めながら検討すべきである。

２．今後の収支目標

○累積欠損金（赤字）の解消
- 平成１４年度末で、約７億３千万円の累積欠損金を平成２２年度末までに解消する。

３．課題と方向性

○今後の課題
- 料金改定（値上げ）が実施でき得る状況にない中で、どのように具体的増収策を見出すのか。
- 民営化へという潮流の中で、一般会計からの支援がいつまで継続されるのか。
- 現行制度の中での内部努力による経費節減には一定の限界がある。
- これらの課題への具体的対応策の検討が求められる。

○事業の方向性について
- 今回は市バス事業の存続・発展を基本とした審議をおこなったが、公営事業の民営化の推進など今後の公営事業全体の先行きが流動的で不透明な状況にあることから、Ｈ１７年度末を目途に再度、市バス事業のあり方・方向性について検討する必要がある。

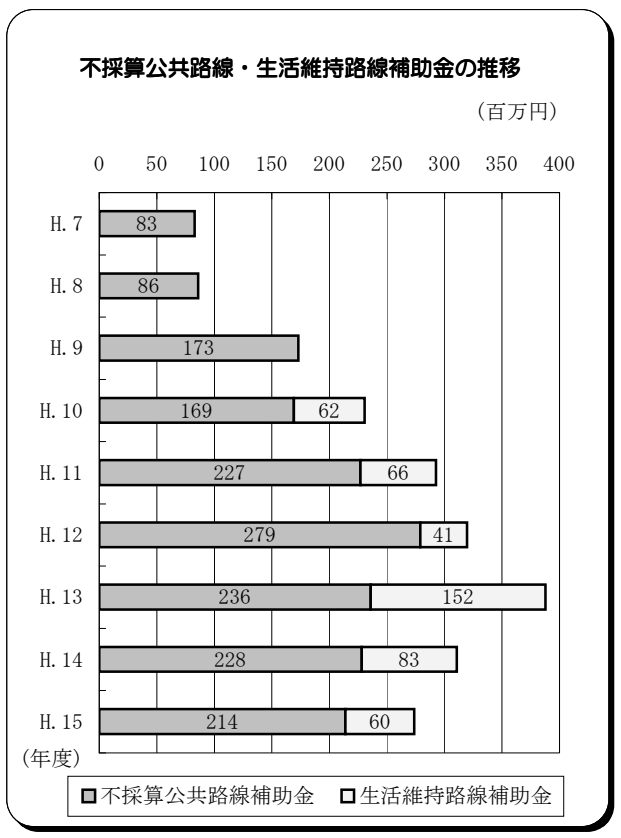
以上のように、報告書では現行の様々な問題点や今後の課題が列挙された内容となっているとともに、Ｈ１７年度末までに市バス事業そのもののあり方・方向性を議論すべきであると締めくくられています。

系統番号・運行経路等が変更となる系統

系統番号の旧欄の「新」は新設系統、新欄の「廃」は廃止系統。

系統番号 旧	系統番号 新	系統名	系統番号以外の変更内容（運行経路等） ※運行経路の→は往路または復路（循環線含む）のみの運行、⇔は往路・復路とも運行
1-1	1	ＪＲ小井内荒牧公園線	
2-1	2	ＪＲ桜ヶ丘荒牧公園線	
7-1	7	**ＪＲ小井内鴻池線**	**南畑止めを鴻池東まで延伸（旧系統名：JR小井内南畑線）** 《運行経路》　JR伊丹⇔伊丹ｼﾃｨﾎﾃﾙ前⇔阪急伊丹⇔千僧口⇔札場辻⇔小井内⇔寺本公団前⇔昆陽里⇔池尻南口⇔池尻⇔西野⇔中野⇔南畑⇔鴻池東
8-1	5	ＪＲ中山寺伊丹線	
14-1	14	ＪＲ伊丹病院昆陽里線	
17-1	17	ＪＲ西野昆陽池線	
18-1	18	ＪＲ松ヶ丘西野団地線	
23	22	**岩屋循環線**	**経路変更（JR伊丹へ乗入れ）** 《運行経路》　阪急伊丹→伊丹ｼﾃｨﾎﾃﾙ前→JR伊丹→東有岡→神津大橋→神津小学校前→神津→上須古→森本６丁目→口酒井→東口酒井→岩屋→森本６丁目→森本4丁目→神津ｾﾝﾀｰ前→神津→神津小学校前→神津大橋→東有岡→JR伊丹→伊丹ｼﾃｨﾎﾃﾙ前→阪急伊丹
23-1	23	**岩屋循環ｸﾘｰﾝﾗﾝﾄﾞ線**	**経路変更（JR伊丹へ乗入れ）** 《運行経路》　阪急伊丹→伊丹ｼﾃｨﾎﾃﾙ前→JR伊丹→東有岡→神津大橋→神津小学校前→神津→上須古→森本６丁目→口酒井→東口酒井→岩屋東→ｸﾘｰﾝｽﾎﾟｰﾂﾗﾝﾄﾞ前→岩屋東→岩屋→森本６丁目→森本4丁目→神津ｾﾝﾀｰ前→神津→神津小学校前→神津大橋→東有岡→JR伊丹→伊丹ｼﾃｨﾎﾃﾙ前→阪急伊丹
24	24	**サンシティ東部循環線**	**経路・系統名変更（旧系統名：伊丹病院岩屋線）**　※【 】は復路のみ、『 』は循環部分 《運行経路》　阪急伊丹→伊丹ｼﾃｨﾎﾃﾙ前→JR伊丹→東有岡→神津大橋→森本→森本6丁目→口酒井→東口酒井→岩屋→森本６丁目→森本４丁目→神津ｾﾝﾀｰ前→神津→西桑津→ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞｼﾃｨ→東有岡→JR伊丹→伊丹ｼﾃｨﾎﾃﾙ前→『阪急伊丹⇔千僧口⇔裁判所前⇔伊丹病院住友前⇔住友北⇔松ヶ丘⇔中野大橋⇔【天神川団地】⇔ｻﾝｼﾃｨ』
25	25	**空港線**	**経路変更** 運行経路は、別記のとおり
25-1	26	**空港線（直行便）**	**直行便に変更** JR伊丹⇔大阪国際空港（伊丹空港）
37-1	37	塚口ＪＲ伊丹線	
49-1	49	ＪＲ北野線	
50-1	50	ＪＲ北野三師団線	
51-1	51	ＪＲ荻野鶴田線	
53-1	53	ＪＲ伊丹坂荻野線	
54-1	54	ＪＲ荻野南三師団線	
55	55	**ＪＲ中山寺三師団線**	**経路変更（荻野経由とする）**　※【 】は往路のみ 《運行経路》　三師団交通局前⇔市役所前⇔伊丹病院住友前⇔住友北⇔松ヶ丘⇔中野大橋⇔玉田団地⇔ｽﾎﾟｰﾂｾﾝﾀｰ南⇔瑞原１丁目⇔【北三菱】⇔瑞ヶ池⇔東野南⇔東野⇔大野⇔荻野⇔荻野北⇔鶴田団地⇔荒牧公園⇔大阪芸大短期大学部前⇔荒牧北⇔JR中山寺
新	8	**ＪＲ桜ヶ丘鴻池線**	**新設** 《運行経路》　JR伊丹⇔伊丹ｼﾃｨﾎﾃﾙ前⇔阪急伊丹⇔桜ヶ丘２丁目⇔桜ヶ丘８丁目⇔大鹿口⇔瑞ヶ丘公園前⇔瑞ヶ丘⇔ｽﾎﾟｰﾂｾﾝﾀｰ前⇔南畑⇔鴻池東
新	12	**ＪＲ小井内昆陽里線**	**新設** 《運行経路》　昆陽里→寺本公団前→小井内→札場辻→千僧口→阪急伊丹→伊丹ｼﾃｨﾎﾃﾙ前→JR伊丹
新	13	**ＪＲ伊丹病院山田線**	**新設** 《運行経路》　JR伊丹⇔伊丹ｼﾃｨﾎﾃﾙ前⇔阪急伊丹⇔桜ヶ丘2丁目⇔桜ヶ丘８丁目⇔大鹿口⇔三師団交通局前⇔市役所前⇔伊丹病院住友前⇔昆陽西口⇔寺本公団前⇔昆陽里⇔山田北⇔山田
2-3	廃	ＪＲ桜ヶ丘荒牧公園三師団線	
3-1	廃	ＪＲサンシティ線	
4	廃	荒牧サンシティ三師団線	
11	廃	市役所三師団線	
11-1	廃	ＪＲ市役所三師団線	
15-1	廃	ＪＲ松ヶ丘南畑線	
17	廃	西野昆陽池線	
18	廃	松ヶ丘西野団地線	
22-1	廃	サンシティ森本循環線（ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞｼﾃｨ廻り）	
51	廃	荻野鶴田線	
51-3	廃	ＪＲ荻野荒牧公園三師団線	
53	廃	伊丹坂荻野線	
53-3	廃	ＪＲ伊丹坂荻野線	
22	廃	サンシティ森本循環線	

38路線が赤字!? もっと市バスを利用しませんか…



左上表は、これら赤字路線に対する補助金の推移を表していますが、平成15年度の補助金は約２億７，００００万円にのぼっています。平成15年度決算は、約８，９００万円の黒字となっていますが、この路線補助金が無かったと仮定すれば、約２億円近い赤字だったことになります。このような状況の中で、交通局としましては、なお一層経費節減・効率的な事業運営に取り組まなければならないのはもちろんですが、経営を改善するにはより多くの皆さまに市営バスをご利用いただくことが不可欠です。市営バスは、人と環境に優しい乗り物であり、市民の大切な財産でもありますより多くの皆さまに市営バスをご利用いただき、皆さまに愛される市営バスであり続けたいと願っています。

なお、今回のダイヤ改正では赤字路線を含めた路線の改編・統合等を実施していますが、一部の利用者の皆さまにはご不便をおかけすることもあろうかと思いますが、こうした状況を何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。